

# 親子聖書日課

[日]「遂にやられた」ではなく、「成し遂げられた」と言って、主は息を引取られました。十字架の苦しみを最後まで耐え忍び、預言の実現を見届けて死なれました。主の十字架の死によって、私達の救いが成し遂げられたことに、感謝しましょう。

[月]墓だけに心を奪われる時、泣かないではいられません。墓は消滅の印です。しかし、主を信じる者は、墓を超えて、勝利があります。主が復活されたからです。「私のお墓に立って、微笑んで下さい。すでに天国にいるからです」と、歌えます。

[火]トマスは礼拝を休んだので、復活の主には会えませんでした。一日位、休んでもいいと思っははいけません。信仰とは、見たら信じるのではなく、見ないで、主の約束だけを信じるのです。主と主の言葉を信じて、従うなら、信仰は分かります。

[水]魚が取れない弟子達のために、主は食事を用意されました。復活の主は、常に弟子達と共にいて、あらゆる必要を満たして下さいます。ですから、心配は無用です。喜んで主の弟子になって、主の言葉に聴き従い、霊の糧に与りましょう。

[木]ここは牧師への勧めではありません。信仰者は、羊であると共に、羊飼いです。親には子供、分級リーダーにはクラスメンバーという羊が託されています。「主の羊」ですから、主に喜ばれるように、御言葉に従って、育てましょう。

[金]使徒言行録は、弟子達の伝道の記録で、ペトロ、パウロが中心に描かれています。しかし、本当の主人公は聖霊です。ですから「聖霊言行録」とも呼ばれています。聖霊の力を頂く時、誰でも主を大胆に証することができ、信じる人が起こされます。

[土]主が天に昇られた後、聖霊が降るまでの10日間、弟子達は心を合わせ、熱心に祈り合いました。そこに聖霊が降り、多くの人が救われ、教会が生まれました。私達も祈禱会で熱心に祈り合うなら、聖霊が降り、大いなる御業がなされることでしょう。



NO.1494 2017.5/14-20

名前

	聖書	問題	答え
日	ヨハネ 19:28-42	主は何と言い、頭を垂れて、息を引き取られましたか。	
月	20:1-18	マリアは振り向いて、主に向かって、何と言いましたか。	
火	20:19-31	どうしないのに、信じる人は、幸いですか。	
水	21:1-14	ペトロが網を陸に引き上げると、何匹もの大きな魚で一杯でしたか。	
木	21:15-25	主はペトロに、何を飼いなさいと言われましたか。	
金	使徒言行録 1:1-11	あなたがたの上に何が降ると、力を受けますか	
土	1:12-26	心を合わせて熱心に何をしていましたか。	
感想と祈りの課題			